

原 著

健常人における塩酸ブナゾシン点眼による  
傍中心窩毛細血管血流速度の変化について小 熊 亜 弥, 遠 藤 要 子, 伊 藤 典 彦,  
土 屋 綾 子, 伊 藤 亜 紀 子, 水 木 信 久

横浜市立大学大学院医学研究科 視覚器病態学

**要 旨**：今日の緑内障治療，特に正常眼圧緑内障の治療においては，単に眼圧下降を目標にするのではなく，眼内の血流改善も重要であると考えられてきている．そこで今回私達は，健常人において，塩酸ブナゾシン（デタントール®点眼液）点眼により，血流速度および眼灌流圧などに改善がみられるか否かについて，走査型レーザー検眼鏡（SLO: Scanning Laser ophthalmoscope）を用いて検討した．対象は26歳～38歳の健常人男性5例8眼，平均年齢は $32.8 \pm 4.1$ 歳で，屈折異常はすべて $\pm 6$ D未満であった．測定血管は1眼につき4～5本で計33本とした．塩酸ブナゾシン点眼開始前および1日2回点眼1ヵ月後において，SLOを用いてフルオレセイン蛍光眼底造影検査を施行し，傍中心窩毛細血管内の蛍光点移動速度を測定し，蛍光点移動平均速度および変化率を算定し，点眼前後で比較検討した．また，眼圧，平均血圧および眼灌流圧も点眼前後で比較した．

その結果，33血管中5血管において有意な血流速度の上昇，7血管において有意な低下がみられ，21血管においては変化がみられなかった．また，点眼前後で眼圧，平均血圧および眼灌流圧に変化はみられなかった．塩酸ブナゾシン点眼前後で，傍中心窩毛細血管の血流速度，眼圧，平均血圧および眼灌流圧に有意な変化はみられなかった．

**Key words**: 塩酸ブナゾシン (Bunazosin hydrochloride), SLO, 傍中心窩毛細血管の血流速度 (perifoveal blood flow velocity), 眼灌流圧 (ocular perfusion pressure)